

平成19年12月議会討論概要（自由民主党代表質問抜粋）

□質問／地震の風評被害は、発生時の危機的状況から落ち着きを取り戻しつつあるが、本格的回復とはいえない状況と認識する。リピーターとして観光客が訪れる魅力ある観光地作りが必要だが、今後の取組へのお考えは。

■知事／二度の地震で落ち込んだ観光を回復させるため、リピーター確保への継続的取組が不可欠。そのため、世界遺産化を目指す歴史と伝統の島・佐渡。唯一船で入山できる魚沼からの尾瀬ルートや、豊富で多様な温泉と健康サービスの連携など他地域と差別化を図る観光資源の磨き上げはもちろん、おもてなしの充実など満足度を高める努力が必要。

今後は、イベント等が集中する2009年を飛躍の機会と捉え、官民一体で立ち上げた「2009大観光交流年推進協議会」を核とし、各地域一体となった取組を積極的に支援。来年5月のG8労働大臣会合を成功させ、今後の国際コンベンション等の誘致活性化に繋げながら、交流人口の更なる拡大を図りたい。

□質問／新潟県にぎわいのあるまちづくり推進に関する条例は、コンパクトシティ構想の実現に向け、郊外大型店進出の抑制と共に、事業者地域貢献を求めることを盛り込んでいる。条例の目的と期待される効果について伺う。

■知事／この条例は、立地誘導地域・立地抑制地域を設定し、市町村プラン作成等を始め、市町村の独自性・自主性に配慮、広域的見地から大規模集客施設の適正立地を図り、地元雇用確保や県産品販売促進など大型商業施設のまちづくり参画を促すことを目的としている。施行により中心市街地活性化に向けた条件整備が図られ、まちづくりの主体である市町村が地域関係者と連携して取組が推進されることを期待する。

□質問／農協の仮渡金大幅引下げに端を発した米価大幅下落に対し、政府与党は34万トンの備蓄米買入れ、全農等による主食用10万トンの飼料等への処理に対する助成と、全農仮渡金12,000円を基本とするなど緊急対策を実施したが、19年産米の緊急対策についての所見を伺う。

■知事／「米緊急対策」について、国の決定は急激な米価下落に伴い、担い手農家や農村地域に対して大きな影響が懸念されたことから、緊急避難的に行われた結果、米価安定に一定効果があったと受け止めている。しかし、依然と需給のアンバランスという根本的課題は未解決であり、20年産米についても政府在庫の上積みは困難と考えられ、効果的な需給調整を早急に検討し「新潟米」産地として、市場競争力強化、経営体質強化等総合的な対策を講じていく必要があると認識する。

□質問／普通会計決算審査特別委員会で、コシヒカリBLの導入について「情報隠し」という答弁があった。いもち病に強いコシヒカリBLの導入は、県と農業関係団体が一緒に進めてきたと承知してるが政策転換があるのか。また、県行政トップとしての発言が農家に大きい影響を及ぼす。答弁は農家へ不安や様々な憶測を与え波紋が広がっているとも聞が、一連の発言の真意は。

■知事／消費者からみて「情報隠し」と思われたらブランド力が下がるのではと発言したもので正確に伝わらなかったのは遺憾。コシヒカリBLは、農薬使用量の大幅削減に効果をあげ、消費者の安全・安心志向に即したものの。いずれにせよ、消費者の求める良食味で安全・安心な新潟米の推進に積極的に取り組んでいく。発言の真意は、いもち病に強く環境にやさしいコシヒカ

りBLの開発・販売にたずさわった農業関係者の努力に敬意を表する。食味についてもBLの方がおいしいという人や、従来コシがおいしいという人が同等であることも理解の上で、消費者がコシヒカリBLと分かるよう表示した方が良いと発言した。関係者が「情報隠し」をしたかのように伝わったことは遺憾。

□質問／農業産出額6割を占める「新潟米」の価格大幅下落は、県経済に大きな影響を及ぼすことから、ポストコシヒカリとして食味や品質等消費者ニーズに適応した新品種を開発するなど「新潟米」としてのブランドを早期確立し、売れる「新潟米」を生産していくべきと考える。今後の「新潟米」の振興策について所見を伺う。

■知事／この度の米価下落は、県内産出額15兆円に対し150億円の減少で、県経済への影響より、むしろ農業経営のみならず地域社会の維持や県土の保全に大きな影響がある重大問題と考える。米の価格形成は需給調整に左右されるが、県の立場から「新潟米」の市場競争力の強化と、米価変動にも耐えられる経営体質の強化が必要と考える。このため、県として農業者所得確保に向けトップブランドにふさわしい食味・品質の確保。複合化等による新たな経営の柱づくり。機械費や地代等生産コストの低減などに取り組んでいく必要がある。また、気象変動を見越して、将来的にも他産地を圧倒できる戦略品種として、コシヒカリを超える良食味の新品種の開発についても検討することが課題である。

■活動報告(主なもの)

5月31日(木)	総務文教委員会・議会広報委員会
6月 7日(木)	少子高齢・青少年対策特別委員会
6月20日(水)～ 7月 6日(金)	6月定例議会
6月20日(水)	議会広報委員会
7月19日(木)	新潟県中越沖地震に係る現地視察
8月 1日(水)	議会広報委員会
8月20日(月)～21日(火)	総務文教委員会県内行政視察
9月 6日(木)	少子高齢・青少年対策特別委員会
9月11日(火)	自由民主党北信越ブロック 幹事長・政調会長会議
9月11日(火)～12日(水)	少子高齢・青少年対策特別委員会県内行政視察
9月25日(火)～10月12日(金)	9月定例議会

10月 9日(火)	園芸振興議員連盟県内視察
10月11日(木)	障害福祉議員連盟県内視察
10月22日(月)～23日(火)	砂防事業促進研究会国内視察
10月25日(木)	議会広報委員会
10月31日(水)～11月 7日(水)	普通会計決算審査特別委員会
11月14日(木)	平成20年予算要望説明会(自民党政調会にて)
11月30日(金)	普通会計決算審査特別委員会
12月 5日(水)～12月21日(金)	12月定例議会
12月 6日(木)	自民党新潟県連エネルギー問題対策部会 柏崎刈羽原発視察



特別委員会にて視察
「こばり病院様院内保育施設チューリップ園」



特別委員会視察にて説明を受ける

砂防議連国内視察にて
栃木足尾砂防堰堤を視察

政令指定都市新潟誕生記念植樹祭
(花とみどりのシンボルゾーン)



中越沖地震直後現地視察



常任委員会にて
国体会場「ビッグスワン」視察

■リレーエッセイ（今後様々な分野の方々に一筆をお願いする予定です。）

〈米の低価格〉

19年産米の低価格は農家・農村地域に不安と不満をなげかけました。その後、政府買い入れ等もあって、仮渡金の追加払いがなされ、少しは安堵しました。しかし、課題はこれからです。新潟米と言えども売れ残る実態をふまえ、生産調整の確実な実行と達成者のメリット策を講じてもらわねばなりません。

もちろん、生産農家の所得確保のため、経営に見合う一定の米価格が必要となります。消費者に安全・安心を提供する米作り農家として選ばれる産地、選ばれる生産者を目指して今年も頑張ります。

小林一大後援会長 寺尾 佐武朗

■所属委員会及び党役職、所属議連

- ☐ 総務文教常任委員会
 - ☐ 少子高齢・青少年対策特別委員会
 - ☐ 議会広報委員会
 - ☐ 自由民主党新潟県支部連合会 政務調査副会長
 - ☐ 自由民主党新潟県支部連合会 青年部顧問
 - ☐ 園芸振興議員連盟
 - ☐ 観光産業振興議員連盟
 - ☐ 農政研究議員連盟
 - ☐ 土地改良議員連盟
 - ☐ 文化振興議員連盟
 - ☐ 新潟県「佐渡金銀山」世界遺産登録推進議員連盟
 - ☐ 北朝鮮に拉致された国民の救出を支援する
新潟県議会議員の会
 - ☐ 砂防事業促進研究会
 - ☐ 障害福祉議員連盟
 - ☐ 保育事業振興議員連盟
 - ☐ 接骨士会事業促進議員連盟
 - ☐ 防衛問題議員連盟
 - ☐ 森林林業振興議員連盟
 - ☐ 金融・経済政策研究会
 - ☐ スポーツ振興議員連盟
 - ☐ 看護対策議員連盟 など

■各種要望、座談会受付のご案内

皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡ください。また、3人程度お集まりいただければ、当方よりお邪魔し、出張ニ県政報告会を開催させていただきます。お気軽にお声かけください。

■新春県政報告会のご案内

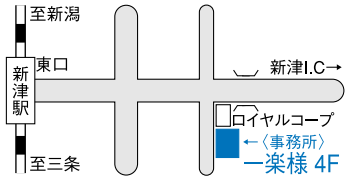
日時／2月2日(土) 午後5時～ 場所／一楽

どなたでもご参加いただけます。ご参加いただける方は恐縮ですが、1月25日(金)までに事務所まで、お電話かファックスでご連絡ください。 詳細をご案内致します。

■事務所のご案内

下記住所にて事務所を設置しております。
お気軽にお立ち寄り下さい。

新潟県議会議員 小林 一 大 事務所
〒956-0864 新潟市秋葉区新津本町2-7-10
TEL 0250-24-8339 FAX 0250-24-8328
メールアドレス nra49509@nifty.com



小林 一大
新ホームページアドレス

<http://www.kobayashikazuhiro.com>
(1月中旬リニューアルオープン!ブログ、メルマガなど盛りだくさん!)